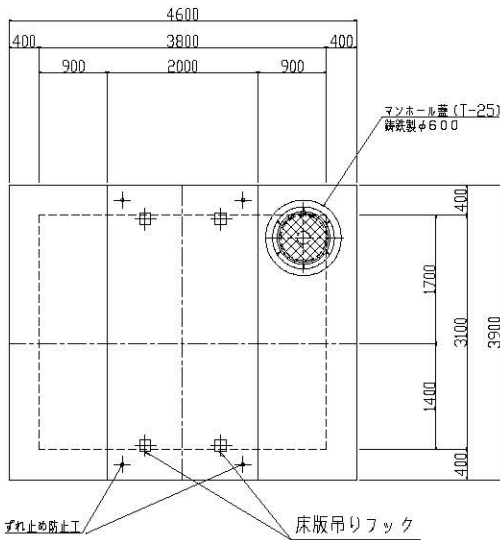




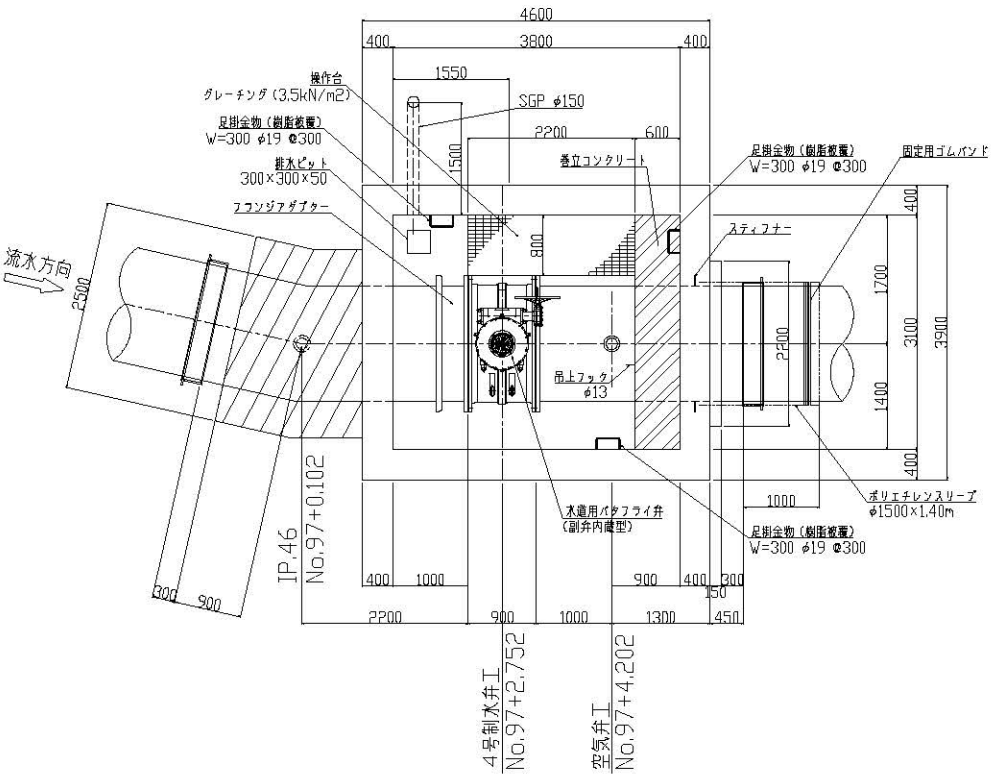
4号制水弁工構造図

S=1:50

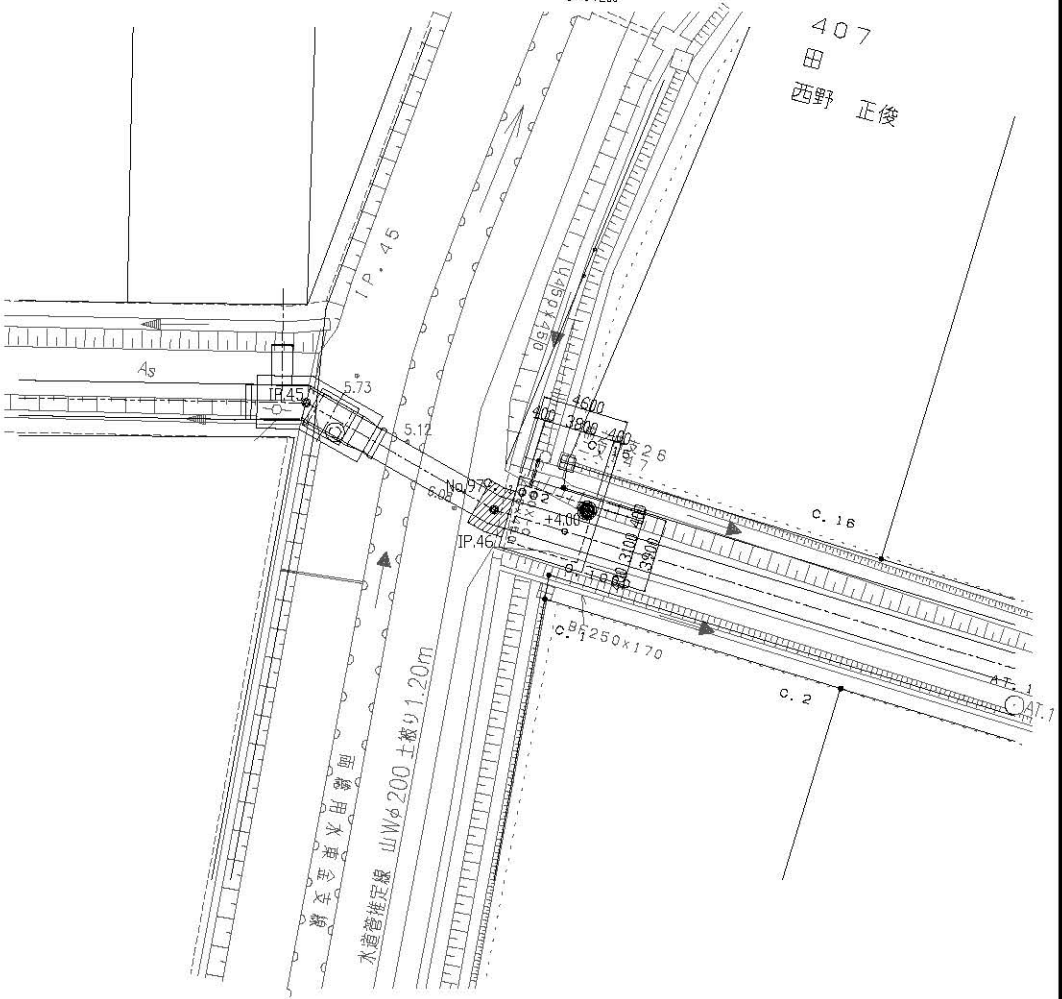
頂版平面図



平面図



位置図



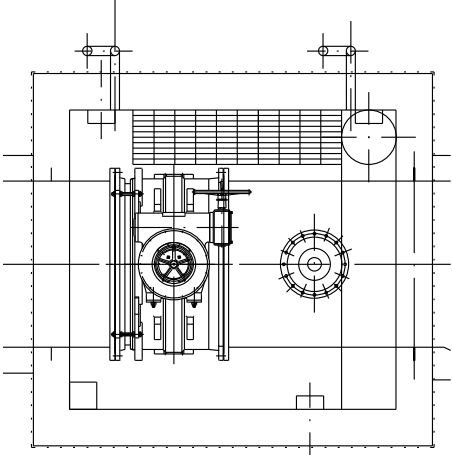
制水弁番号 4号制水弁工			路線名	東部幹線用水路			緯度	35°33'54.75"	
			関連事業名				経度	140°24'12.31"	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	2,740 (2,050) 1,440 (1,010) 4,180 (3,060)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 3.44m³/S	施設容量 3.44m³/S	制水弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.75 2.67
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

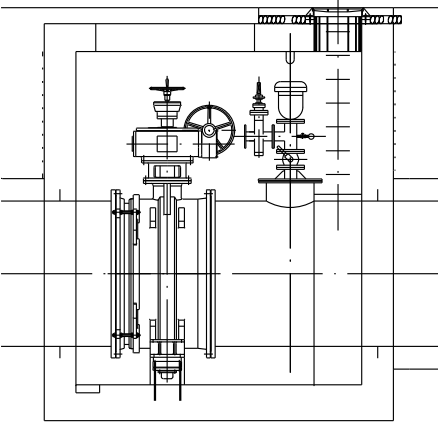
受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段()は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は東金市道3190号線下に設置された地下埋設施設である。
東金東分水工の脇を走る開水路及び東金市道をまたいだ先の電柱が目印となる。
この電柱の根本に弁室人孔(マンホール)が設置されている。

平面図



縦断面図



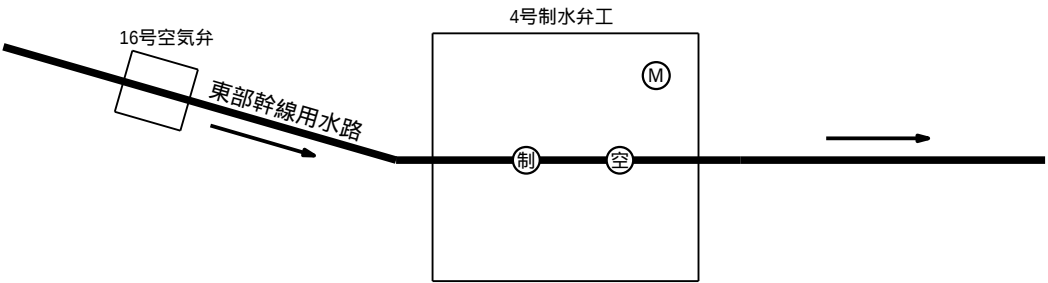
弁室人孔（マンホール）
4号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホールの弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号 4号制水弁工		路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 33 ' 54.75 "
		関連事業名		経度	140 ° 24 ' 12.31 "

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙
制 水 弁	⊙
マンホール(人孔)	Ⓜ

【制水弁について】
4号制水弁の主弁は手動バタフライバルブであり、弁室内のハンドルにより全閉・全開操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁(上部ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。